

(別紙4(2))

事業所名: 医療法人有心会 グループホーム南風

目標達成計画

作成日: 令和 2年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急持ち出しファイルの入居者の写真が上半身のみのため、入居者の状態把握が不完全であった。また運営推進会議において施設の消防避難訓練等の実施を口頭でしか伝えてなく記録しておくべきであった。	持ち出しファイルを誰が見ても、入居者の移動状態が把握できるようにする。消防避難訓練の実施が運営推進会議にて口頭説明のみにはしない。	持ち出しファイルにて移動手段が一目でわかるよう杖を突く人、歩行器の人などそれぞれに全身写真に差し替える。消防避難訓練の実施は運営推進会議の議事録に記録する。	2ヶ月
2	36	入居者の居室に未使用時のポータブルトイレがそのまま配置した状態であり配慮に欠けていた。	居室に配置しているものがポータブルトイレとわからないようにする。	ポータブルトイレに目隠しのために布で覆うようにする。	1ヶ月
3	45	入浴日や入浴時間など職員主導の支援になっている。	職員主導でなく、なるべく入居者主体の入浴支援にする。	職員のその日の配置などにより困難な日もあるが、入居者個々の状態や希望に応じられるように努めたい。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。